

河川砂防技術研究開発公募(河川技術分野)平成21年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
XバンドMPLレーダの効果的実利用へ向けての降雨観測・予測とCバンドレーダとの連携活用に関する技術研究開発(研究期間:H21年~H24年)	(独)土木研究所 深見 和彦	B
<p><研究概要></p> <p>高密度に設置した地上雨量計を用いて、レーダメッシュスケール(1km×300m)でのレーダ雨量の定量評価を行った。また、レーダ雨量の誤差特性が洪水予測に及ぼす影響を定量的に評価する方法を開発した。さらに、XバンドMPLレーダによりCバンドレーダによる広域雨量の精度を改善する手法を複数比較し、雨滴粒径分布の逆推定を介した理論法よりも、雨量比で補正する方法がより効果的で実践的な手法であることを示した。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>XバンドMPLレーダの精度評価について研究を行い、レーダ雨量観測に関する理解の向上に貢献している。Cバンドレーダとの連携活用という最終目標に対しては、どういった成果が得られたのか分かりにくい部分があるが、研究の目的は概ね達成され、研究成果があったと言える。</p> <p>今後は、空間的に高密度の地上雨量観測という本研究独自の成果を生かし、実用に役立つ知見につなげることや、現場に実装されているレーダの観測精度の向上につなげることが期待される。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い